学校番号	2101

平成３１年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂａ	単位数	２単位	年次	全年次
使用教科書	詳説「日本史Ｂ」　（山川出版社）						
副教材等	写真資料館　日本史のアーカイブ　（とうほう）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を感じる。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・歴史を背景とした外国との関わりも踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

２　学習の到達目標

我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見いだし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査
	［主題学習］ 振り返りシート	［主題学習］ レポート	［主題学習］ ポスター	［主題学習］ 内容のまとまり

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	D		
前期	日本文化のあけぼの	・文化の始まり ・農耕社会の成立 ・古墳とヤマト政権	○ ○	 ○ 	○ 	 ○ ○	a:日本文化のあけぼのに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b:主題に対する課題を見いだし、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:主題に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表まとめたりしている。 d:主題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	ワークシート 定期考査
	律令国家の形成	・飛鳥の朝廷 ・律令国家への道 ・平城京の時代 ・天平文化 ・平安王朝の形成	○ ○ ○ 	 ○ ○	 ○ ○ 	○ ○ ○	a:律令国家の形成に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b:主題に対する課題を見いだし、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:主題に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表まとめたりしている。 d:主題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	ワークシート 定期考査

	貴族政治と国風文化	・摂関政治 ・国風文化 ・地方政治の展開と武士	 ○ 	○ ○	 ○ 	○ ○	a: 貴族政治と国風文化に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b:主題に対する課題を見いだし、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:主題に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表まとめたりしている。 d:主題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	ワークシート 定期考査
	中世社会の成立	・院政と平氏の台頭 ・鎌倉幕府の成立 ・武士の社会 ・蒙古襲来と幕府の衰退 ・鎌倉文化	○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○	○ ○ ○ 	a: 中世社会の成立に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b:主題に対する課題を見いだし、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:主題に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表まとめたりしている。 d:主題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	レポート 振り返りシート

	歴史の流れを組み立てる	［主題学習］ ・課題の設定 ・調査方法 ・資料収集 ・成果報告	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○	 ○	a:古代から中世の日本の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。 b:古代から中世の日本の歴史から課題を見いだし、文化の多様性・複合性や特質を多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c:古代から中世の日本の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:古代から中世の日本の歴史についての基本的な事柄を身に付けている。	振り返りシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。